

季節性インフルエンザ ワクチン予防接種のお知らせ

保健医療課 ☎42-5633

10月から今冬のインフルエンザ ワクチン接種が始まります。対象となる方には9月下旬に郵送で接種券を送付します。対象となる方で、お手元に接種券が届かない場合、また9月以降に転入などで新たに市内にお住まいの方で接種を希望される方は、保健医療課・健康推進係までご連絡ください。

■対象となる方

- 接種日に65歳以上の方
○接種日に60歳以上65歳未満で

心臓・腎臓・呼吸器機能・免疫機能障害のいずれかをお持ちの方で、障害者手帳1級相当に該当する方。

■接種期間

平成28年10月1日～平成29年1月31日

■医療機関に持参していただくもの

- ・自己負担金 1500円(生活保護世帯の方は無料です)
・接種券
・健康保険証など

家屋の新築・増築・取り壊しをされた方は届出をお願いします

税務課 ☎42-5614

家屋の固定資産税は、毎年1月1日現在に存在する家屋を課税対象として台帳を作成し、その所有者から納税していただく税です。今年中に新築などをされた方は届出をしてください。

■届出の対象となる家屋

- ①今年、新築・増築・取り壊された家屋
②今年中に完成予定の家屋
③昨年以前に新築・増築されたが、まだ評価を受けていない家屋

④昨年以前に家屋の取り壊し、または倒壊があったが、平成28年度固定資産税納税通知書に添付された課税明細書にまだ記載されている家屋

■届出先

税務課または各支所窓口係 ※届出用紙は、届出先に備え付けのものをご利用ください。



男女共同参画推進審議会委員を募集

人権多文化共生推進課 ☎42-5630

男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項を調査並びに審議するため、男女共同参画推進審議会を設置し、その委員を募集します。男女共同参画社会づくりに理解と意欲を持ち、積極的にご提言いただける方の応募をお待ちしています。

■募集人数 一般公募(個人) 5名

■応募期間 10月21日まで

■応募資格

市内に在住され年齢が満20歳以上(平成28年4月1日時点)の方。

方。

■応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、人権多文化共生推進課もしくは各支所窓口係へご提出ください。

なお、応募用紙は人権多文化共生推進課、各支所窓口係のほか、市ホームページにも掲載しています。

■その他

応募者多数の場合、市の選考にて決定。

■申し込み・お問い合わせ先

人権多文化共生推進課

10月1日は浄化槽の日 ~適正な管理を~

上下水道課 ☎47-1204

浄化槽はたくさんのご家庭にあって水をキレイにしています。浄化槽が正常に作動しないと、汚れたままの水で川や海を汚してしまうこととなります。浄化槽が正常に作動するようきちんと管理することが大切です。そのため、浄化槽を管理される方には、浄化槽法により点検・清掃及び検査を受けることが義務付けられています。

この点検・清掃により浄化槽は正常に機能し、その記録を点検時に確認することで適切な管理が行われます。点検・清掃は維持管理業者が行いますので、それぞれ契約内容をご確認ください。また、使用を中止する場合も契約解除の届出など、手続きが必要です。市ではお住まいの地域によって、し尿と生活排水を併せて処理する合併浄化槽の普及促進事業を実施しています。新たに合併浄化槽の設置を検討されている方は、上下水道課までお気軽にお問い合わせください。

市長コラム

第96回

「ICT(情報通信技術)を活用した地方創生

本市は少子高齢化が進み、人口減少が著しい中山間地特有の過疎集落であります。集落を維持するための人口減対策は大切な事業であり、雇用の創出や地方の活性化が喫緊の課題であります。「ICT」は、行政はもとより農業・林業・商業・医療・交通・防災など、さまざまな分野に於いて、横断的に活用出来る効果的なツールであります。地域が抱える課題の解決や活性化に効果的な手法であると考えております。

政府に於いても「まち・ひと・しごと」の基本方針の中で、「ICT」は地方創生に必要不可欠なツールとして位置付けられています。今後、「ICT」はマイナンバー制度の活用を含め多方面に亘り活用されることと思えます。「ICT」を活用した他市の事例を紹介すると、長野県塩尻市ではインシシ等により水田・畑が荒らされ、収穫高の減少や耕作放棄地の拡大が深刻化していましたが、水田にセンサーを設置し猪・鹿等の鳥獣を感じる仕組みをつくり、サイレンやフラッシュライトで鳥獣を追い払うと共に、地元農家や猟友会とメール等により情報の交換を行い、事業の効果として、被害ゼロの区域が実現したとのことです。岡山県真庭市では、森林の所有者の情報やロボットセンサーで把握した樹木の分布、成育情報をクラウドシステムで整理し、真庭市や真庭森林組合が森林資源の情報を共有出来る仕組みを構築し、森林資源の把握、所有者の把握作業の短縮に成功しました。群馬県前橋市では、地元医師会の協力のもと、子供の予防接種、医療

機関や小・中学校に於ける検診情報を電子化し、保護者や医師が一元的に健康情報を共有できる、仕組みを構築しました。このことにより、マイナンバーカードをパソコンやタブレットのリーダーにかざすだけで、サービスの利用が容易となった事例が報告されています。

本市に於ける学校教育の「ICT」の活用については、小・中学校への電子黒板の設置を行っています。昨年、向原小学校・向原中学校をモデル校として機器を設置し、先生や児童・生徒に大変好評なので、今年度は、吉田小学校、美土里小学校に設置する事としました。今後は、早い時期に全校に設置出来るよう努めていきたいと思えます。電子黒板の整備と教師用のパソコンの整備を併用して行い、インターネット等を利用した動画等の教材収集を可能とし、「ICT」を活用する上で、学力の向上に繋げていきたいと考えています。

「ICT」の活用でこれからの行政サービスは変わります。本市として、「ICT」の活用は教育部門だけではなく、より積極的に多方面での活用が必要と考えています。そのためには、職員一人一人が問題意識を持つことが大切であり、他県他市の事例を参考にしながら、本市独自の「ICT」の活用を考えていきたいと思っております。

今後、市の危機管理体制・生活支援・移動支援・医療健康管理支援等の効率的なまちづくりに向け、スマートシティ構想・コンパクトシティ構想に基づき、情報共有を生かした「ICT」の活用は大切なツールと考え、施策を進めてまいります。

また、「ICT」を活用したまちづくりを進めるうえで、自治体の責務として、情報セキュリティ及び個人情報保護への対応が大切となって来ます。そのため、セキュリティ対策が重要な課題であり、情報セキュリティハンドブックの作成をはじめ、特にマイナンバー制度の導入・運用に当たっては、十分な研修などの人的安全管理の措置が重要であり、早い時期に管理職を含む職員全員を対象にした研修が必要であると考えています。

移りゆく季節

はじめまして。地域おこし協力隊リーコーラム初登場となります。渡部と申します。よろしくお願ひ致します。

桜の花が咲き始め、ツバメがやってくる頃、安芸高田市での暮らしが始まりました。早いもので5つの月が過ぎて行きました。どう動いたら良いのか分からず、上司や先輩隊員の方々に助けて頂きながら、安芸高田市のことを少しずつ知ることとしていく毎日です。あっといふ間だったように思えます。

広島で産まれた私が、高校卒業後、ずっと関東で暮らしていたため浦島太郎状態。いろんな「も」の、「こと」が新鮮で、日々いろいろな驚きを発見しながら過ごす毎日。田んぼで大声で歌う蛙さんたち、美味い井戸水、真つ暗闇で傷だらけのように散らばる満天の星。今までも空を見上げることは多かったのですが、ずっと海沿いの町で

地域おこし協力隊 渡部太郎さん(産業振興部地域営農課)

わたべ たらう 渡部太郎さん(産業振興部地域営農課)



暮らしていたので、光というか、見え方がまったく違うんです。山間に暮らす人へのGIFT、喜びだと思えます。

ミッションである資源循環と農産物の高付加価値化推進。具体的には、放置された竹林の整備を進め、竹林整備により発生した竹チップを堆肥造りに活用。その堆肥を活用した農産物の生産を推進し、付加価値を高める取り組み情報収集と現状の把握に現状終了してしまっていました。これから実際の動きが活発化していきます。じっくり向き合い取り組んでいこうと考えております。めざせ竹仙人。

残暑厳しい時分に書いておりますが、この記事が出る頃には、ツバメが南へと帰り、かわりに雁が飛来し始める季節となつていっていると思えます。少しは涼しくなっているのかな？秋の月夜が今から楽しみです。

